

2010年度 嘉手納スペシャルオリンピックス大会開催

第18航空団広報局

多くの感動と友情、そして笑顔を嘉手納基地にもたらす嘉手納スペシャルオリンピックス大会も、今年で第11回目を迎えました。晴れやかな秋空のもと、嘉手納基地内で11月6日開会式を前に、毎年参加を楽しみにしている多くのアスリートはもちろん、半年以上前から準備に余念がなかった実行委員会のスタッフの顔も、それぞれに笑顔で溢れ、素晴らしい一日を予感させました。



今年のアスリート参加者数はおよそ850名と昨年に比べ少し減りましたが、美術作品展示会への出展者数が706名と昨年に比べ倍増する勢いでした。アメリカ人のボランティアは「Hugger/ハガー」と呼ばれ「抱きしめる人」の意で、およそ1700名参加。それから基地内従業員や地元の大学生などが手伝った通訳ボランティアがおよそ460名。また琉球太鼓やハワイアンダンスなどこちらもおよそ200名余のエンターテインメントボランティアが会場を華やかに盛り上げてくれました。

今年は、米国太平洋空軍司令官ノース大将夫妻、ジュアス少将がハワイから駆けつけ、また外務省、沖縄防衛局など日本国政府代表者、沖縄県、嘉手納町、北谷町、沖縄市など地元地域からおよそ230名の来賓にご臨席賜り、開会式を盛大に開催することができました。

午前8時ころから、アスリートが続々と到着するテントエリアでは、ハガーや通訳ボランティアが拍手喝采でアスリートの到着を歓迎し、アスリートたちもボランティアも試合が始まる前からすでに高揚している様子です。その中に、ビーチサッカー日本代表監督のラモス瑠偉さんの姿もありました。ご家族で特別ゲストとして参加されたラモスさん、アスリートたち一人ひとりと握手をしたり抱きしめたり、そのたびにラモスさんの黒髪が揺れ、アスリートたちもあらためてラモスさんの暖かさや大きさに感激している様子でした。大会会場では巨大なカイト（凧揚げ）のパフォーマンスも行なわれ、世界チャンピオンの江見健二郎さん、田上千枝子さんの凧さばきにアスリートもボランティアも見入っていました。

嘉手納スペシャルオリンピックス大会は、毎年多くの方々に支えられています。大会にかかる経費はすべて寄付金 資金造成活動で得た資金で賄われています。基地内では米国4軍（空軍、海兵隊、海軍、陸軍）の軍人 家族が、また地元地域からは商工会 商工会議所会員、企業 団体 個人からご支援を頂き本大会開催が可能となっています。嘉手納スペシャルオリンピックス大会は、この先も多くの参加者で賑わい、そしてさらに多くの友情を育む機会になることを望みながら、今年の実行事を終了しました。

CONTENTS

PART I

嘉手納スペシャルオリンピックス大会の様子
美術展の様子
Tシャツパッケージング

PART II

沖縄国際カーニバル
老人ホームいえしまにて
ハロウィンイベント
母子寮への寄付活動

PART III

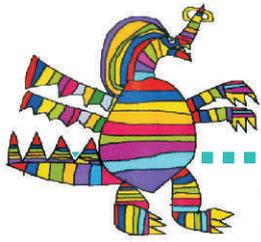
世界各地より本国の家族へのメッセージ
手作りクッキー大作戦
スコシ・ウォーリア
日本人従業員 永年勤続表彰式
外務省主催「沖縄理解増進セミナー」

PART IIII

第5空軍、新司令官着任
防衛副大臣、嘉手納基地視察
米国政府契約業務についての説明会
スコシ・カデナ 2010年の主な出来事

2010 KADENA SPECIAL OLYMPICS GAMES





嘉手納スペシャルオリンピックス美術作品展示会

2010 KADENA SPECIAL OLYMPICS ART EXHIBIT

10月14日から17日までの4日間、サンエー具志川メインシティ1階のメインコートにおいて、美術作品展示会が開催されました。704名の出展者による443点の作品（合同作品あり）が展示され、多くの素晴らしい作品が紹介されました。また、嘉手納スペシャルオリンピックス大会当日にも、基地内のライズナー体育館に於いて同展示会が催され、沢山のの方々にご来場いただきました。





10月15日、嘉手納基地で働く日本人従業員85名がボランティアとして集合しました。普段は事務職、運転手、土木技師など様々な場所で勤務している人々ですが、仕事をやりくりし、ボランティアの時間を捻出してくれました。アスリートが大会を楽しく過ごしてくれることを願いながら、アスリートひとりひとりのゼッケンに氏名と参加するスポーツ競技の記号を書き入れたり、車両パスやTシャツ等を袋詰めしました。大会当日、米国人ボランティアはこのスポーツ競技の記号を見て、アスリートがどの競技に参加するかを理解し、競技開催場所へ案内することができるのです。日本語が通じなくても、イベントを進行するために様々な工夫を試みています。このように、たくさんの裏方のボランティアが本大会を支えています。

(左3点、米空軍：ダーネル・ケネディ二等軍曹、その他全て米空軍：ラキーシャ・クローリー二等軍曹撮影)

